



いなほ

稲積神社社報

第34号

平成23年 1 月 1 日発行



迎春

甲府市
石川 尚美氏 撮影



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

六月 三十日	五月 二日 三日 四日 五日	三月	二月 八日 十七日	一月 一日	毎月 一日 三日 十五日
お夏越大祓満灯祭	正正正正木 ノノノノ木 祭祭祭祭祭 終三二例前夜祭 了ノノ大祭祭祭	天満天神社例祭 猿田彦社例祭 甲子社例祭 熊野社例祭	初針供分養祭 祈驗合格年午祭 恵方詣りの願祭 旅	新歳年祈旦願祭	古神札焚上げ祭 月恩感謝祭 月次祭 始祭



運勢

宮司 根津 泰昇



平成二十三年 辛卯・七赤金星

・昭和二十八年生四八歳
今まで良好に生活を営んで来て、今年には従来より何か違う現象に見舞われます。このような時は、何を以て解決出来るか模索する精神力が追求されます。

七赤金星・辛卯年は、発展があつたり喜び事が多い象である。この象を正確に捕らえるには、忍耐力と持続性を養う事が大切。この気持を怠ると、建設発展の為に行動しても無駄な時を経過したり、財産の損失を生じ易い年。

☆一白水星(衰退期の注意運)基礎運

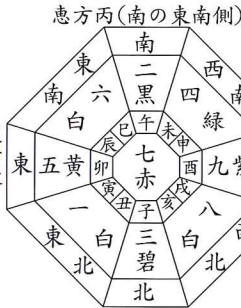
良きに付け悪しきにつき、気持ちに變動を起したくなりませす。過去の行動に迷いが生じ決し兼ねます。過去の生活が無理があつたなら、勝負はせず平安な道を選ぶべきです。

・昭和五十六年生三〇歳

将来を考え、自分の進む道を熟慮するべき年です。しかし種極策より、自分の力で出来る方策を選ぶべきです。

・昭和四十七年生三九歳

行き詰まりを感じ、変化を求め、人間関係や金銭に問題が生じると立ち直りに時間を要する。再スタートを切るにしても苦難を乗り越える精神力が必要で。



ラッキー色 赤色 五黄殺

平成二十三年方位吉凶図

次の星の人は、万災除(正気興隆)「開運」のご祈願を受け、災難除の御神徳をお授かり下さい。
●凶方位に新築、増築、改築、開店、進出、遠方旅行、移転行為をする人
●歳破を受ける九紫火星の星の人
●暗剣殺を受ける九紫火星の星の人
●衰退運の三碧木星の星の人
●衰退運の七赤金星の星の人
●変動運の七赤金星の星の人
●歳破、暗剣殺

Table with columns for Star (星), Birth Year (誕生日), and Direction (吉方位). It lists various stars like 一白水星, 二黒土星, etc., and their corresponding birth years and directions.

※平成二十三年の誕生日を迎えるの満年齢です。

◎凶方 北東・東・南西・西
◎建築・開店・移転 不可
☆二黒土星(衰退期の順調運)基礎運
実際に生活を営んだ方は、受彰、栄転、栄進の栄を受ける社会的地位を確立するでしょう。反面の方は、争い事が生じ不名誉な事柄が生じ、離合集散が起ります。諸事即刻に処理する事がです。

・昭和五十五年生三二歳
女性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。

金運はありますが、散財する事が多く、財を損失する。又、精神が高慢になりがちで友人、知人との離反が起り、内面的に空虚や窮乏を招く事が多いので注意。
・昭和四十六年生四〇歳
男性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。

自我心が特に強く働くようになり、自己の主張に固執しすぎて、人との分離が起り易い年。人により失職や解雇せられぬよう注意。
平常心を保つよう心掛ける事が大切。
・昭和三十七年生四九歳
この年は衰退期なれど、知恵聡明である。特に神仏に心を向けることにより、社会的に信望を受け、身分の向上発展につながる年です。無病息災を願うことにより安泰です。順調運なれど油断禁物。
・昭和二十八年生五八歳
争いや離反が起り、不名誉を受けたり、訴訟問題や刑事事件に発展するような事象があり、病災にも注意が必要です(脳、心臓病)。今年は無病息災を願うことにより安泰です。

今迄の生活の営みが、下積みや風雪に耐えて努力を積み重ねてこられた方は、社会の信用を得て、財をも得ます。一面分離や不和事が起る要素も兼ねていますので自惚れは禁物。
◎吉方 東南・西北
◎凶方 北・東・南・西
◎建築・開店・移転 吉
☆三碧木星(衰退期の衰退運)基礎運
今年には衰退期の衰退運ですので、伸びようとしても伸びられず、諸事に心労多く、悩みや迷事が多い年です。数年の男四一歳、女三三歳は厄のなかの大厄です。男三三歳も前厄です。厄にあたらない方も今年は星除祈願をお受け下さい。
・昭和六十三年生三三歳
男性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。

自己主張が強くなり易い年で、その結果人との不和事が生じ易く、自己評価が下りませす。又、怪我、病難にも注意です。

・昭和五十四年生三三歳
女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。
衣食住に恵まれる年で、諸事に安定のある年です。反面事を成すには力不足ですので、新規事、拡大には向きませせん。酒色、色難、病難には用心が肝用。
・四十五年生四一歳
男性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

経済的な困窮により、悩み事多くあり、病災にも注意。投機事に手を出す財を失い、離散の種を播く事になる。今年には経済観念をしっかりと持ち、平常心で生活すること。
・昭和三十六年生五〇歳
自己主張を強く表に出すことにより、諸事がスムーズに進まず、精神的に悩み事を抱えることが多い。気配りをし、一步一步前進することに心掛ける事。
・昭和二十七年生五九歳
男性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。

浮沈の多い年ではあるが、努力を惜しまないで重ねる事により、援助を受けることになる。その多くは、肉親愛、友情に支えられる。冬籠りの年ではあるが、春遠からずである年。
・昭和十八年生六八歳
人生の華やかさが薄らいでくる反面、激しい運氣の変化も安定してきます。しかし、伸びようとしても伸びられず、精神面に迷いを生じる年です。今後の生活向上のために、神社巡りをして下さい。生氣興隆につながります。

◎吉方 北東・南西
◎凶方 北・東・南・西
◎諸事不可

お正月は歳神さまを お祀りする神事

「お正月さまござった、どこまでござった、〇〇までござった、……」というわらべ歌があります。この歌には、お正月の訪れをまだかまたかと指折り数えて待つ、心はずむ思いがこめられています。いまでもお正月は、子供たちにとって大きな楽しみのひとつでしょう。

ここにてくる「お正月さま」とは「歳神さま」のことで、年の始めに家

を訪れ、家族に幸福を授けてくださる神さまです。歳神さまは稲の魂であるとともに、祖先の御霊とも一体であるとの信仰があります。お正月にはご先祖さまが、私たちに幸を授けに来てくださるという意味もあります。

年末からお正月にかけて行われるさまさまな行事は、すべてこの歳神さまをお迎えし、お祀りするのためのものなのです。

崇敬会々員を始め神社関係者の方々の企業・店舗を紹介します。

割烹 きよ春

確か、参集殿の辺りに大きなクヌギの木があった。夏休みになると、誰よりも早く起きて、真っ先にそのクヌギの木の所に行き、ブンブン、スズメバチいる。だけど目指すはかぶと虫。プタ（メスのかぶと）はいるけど、なかなかお目あてにめぐり合う事は少なかった気がする。「好博ちゃん、今度、台ヶ原行くか？たぐさんいるぞ。」先代の根津成雄宮司の声。早起きして連れて行ってもらった台ヶ原は、夢の国だった。麻袋からあふれんばかりのかぶと虫が採れたのだから。

平成二十三年厄年表(数え年)

大厄は四十二歳	男の厄年		
	前厄	本厄	後厄
60歳 昭和27年生	41歳 昭和46年生	24歳 昭和63年生	前厄
61歳 昭和26年生	42歳 昭和45年生	25歳 昭和62年生	本厄
62歳 昭和25年生	43歳 昭和44年生	26歳 昭和61年生	後厄
大厄は三十三歳	女の厄年		
	前厄	本厄	後厄
	36歳 昭和51年生	32歳 昭和55年生	18歳 平成6年生
37歳 昭和50年生	33歳 昭和54年生	19歳 平成5年生	本厄
38歳 昭和49年生	34歳 昭和53年生	20歳 平成4年生	後厄

数え年とは、満年齢に誕生日前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。

塩島 好博

☆四緑木星（盛運期の順調運）

基礎運

今年、華やかさはないが温順平穩な年です。将来の基礎を築くには良い年ですので、諸事に努力を惜しまぬことです。経済的には投資より貯蓄することにより吉です。

・昭和六十二年生二四歳

厄年の本厄です。厄除祈願をお受け下さい。

運勢を受ける年になりました。気が不安定な時期なので諸事が順調に進みません。目上の人を音声を聞き、将来を見据え前進して下さい。

・昭和五十三年生三三歳

女性は大厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。

自己中心的になり易い年です。永年の努力が表れないことがあります。又誤解や誹謗を受けたりしますので注意、努力を積み重ねてきた方は、世間にも認められ、自己向上に発展してゆきましょう。

・昭和四十四年生四二歳

男性は大厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。

諸事が思う様に進まない欠点があります。反面努力を惜しまねば温順平穩なので、生活は豊厚に恵まれる年です。

・昭和三十五年生五一歳

人生でも安定してくる年です。今まで沈みがちであった運氣も、上昇気味になります。努力すればするほど好結果が生まれるでしょう。「ヤル気」を出して頑張る年です。

・二十六年生六〇歳

男性は本厄です。厄除祈願をお受け下さい。

晩年の基礎作りを始める年です。己のためか家族のために土地とか住居に関心を抱きます。無理をしなれば前進して良い年です。

・昭和十七年生六九歳

運氣が満願になります。生活を温順平安に保てば、将来軌道に乗り安泰が得られます。

◎吉方 北

◎凶方 北東・東・南西・西

◎新規事・建築・移転・改築 秋以降

☆五黄土星（盛運期の向上運）

基礎運

気が安定してくる年ですので、明るく陽気な気分になることでしょう。今まで諸事に取り組んできた方は、発展の年ですので、好結果が出るよう努力して下さい。軽率な行動による、不慮な事態が発生する年ですので注意。

・昭和六十一年生三五歳

男性は後厄です。厄除祈願をお受け下さい。

男女共良縁に縁有る年です。自己で運勢を切り開く年でもありますので、将来の向上発展に結びつくよう努力して下さい。

・昭和五十二年生三四歳

経済的には恵まれる年ですが、不用意な行動や警戒心を怠ると、失脚とか信用を失う危険があります。軽率な行動を慎み、実直な姿勢で歩めば、好結果につながります。

・昭和四十四年生四三歳

温順平穩な年ではありませんので、気分も明るくなります。又活動的にもなりますので、新規事があれば実行に移すことです。半面大なり小なりの暴露が生じますので注意。

・昭和三十四年生五二歳

思い付きや軽率でない限り、従来からの計画や新規な計画を実行に移すには良い年です。しかし若干力不足のところもあるので無理をせずに、病難にも注意。

・昭和二十五年生六一歳

男性は後厄です。厄除祈願をお受け下さい。

・昭和二十五年生六一歳

将来の基礎作りには良い年です。

対人関係で有力者と親しい関係が出来、良好です。反面自己本位の行動を取ると不名誉を受けることになり

ます。

・昭和十六年生七〇歳

いよいよ運勢も満願を迎える年です。人生のレールを振り返りましょう。これからの人生は自我心を抑え、協調性を養うことにより、吉です。

持病に注意。

◎吉方 東南・南・西北

◎凶方 東・西

◎新規事・移転・建築・開店 吉

☆六白金星（盛運期の盛運）

基礎運

運勢は最も強運の年なので、努力を惜しまず順調に歩んでくれた方は、目的が達成されたり、仕事も繁栄発展し、活躍出来る年です。反面勢いがある故に、浅はかな行動に出ると迷い事や事の行き違いを起すことなるので注意。

・平成六年生一七歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

人生初の厄年であります。人生歩むには、親の言葉を大切に、目上の人意見尊重すること、自己を主張するがゆえに、自惚れと孤独になることがあるので注意。

・昭和六十一年生二六歳

人生波に乗るには、第三者から良い話を持ち込まれることが多いので、速やかに解決してゆくとが大事。慎重さを失うと、事柄に非難、反対を受けるので注意も必要。

・昭和五十一年生三五歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

・昭和五十一年生三五歳

生活を始め諸事に盛大な極め発展する年、努力を惜しまぬこと。縁談がまとまり易い年でもあります。反面諸問題も抱える年でもありますので、生活は平常心を保ち、慎重にすること。

・昭和四十二年生四四歳

社会的にも広く交際がふえ、信用も増す運勢であり、東奔西走する年です。反面警戒や慎重さを怠ると、良い機会を失う事になりますので注意すること。

・昭和三十三年生五三歳

諸事が順調に運び平安安泰の日常生活を過ごされている方は、自分を見失う傾向にあります。自己中心的になり易く、誤解、非難を受け易いので注意。社会奉仕の精神で控え目な行動で吉です。

・昭和二十四年生六二歳

世話事や奉仕活動が多く持ち込まれる年ですが、平常心で取り組む事により吉です。反面大事業に関わると、本来の力が発揮出来ませんので、考慮することが肝要です。

◎吉方 北東・南

◎凶方 東・東南・西・西北

世話を焼く年です。厄除祈願をお受け下さい。

・昭和二十九年生七一歳

八方塞がりの年ですので凶作用の働きが強く出る年です。しかし保守保全に努めることにより安定感が得られます。日々の生活を平穩安泰に過ごす努力を惜しまぬこと。

・平成五年生一八歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

・昭和五十九年生二八歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

・昭和五十九年生二八歳

目上の人からの引き立てがあり、社会的に信用を得、将来に向かって足固めをする年です。確実に手の中に納めるには自意識過剰にならないよう注意する事です。

・昭和五十年生三六歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

・昭和四十二年生四四歳

生活面でも変化、変動を起したくなく、又起きなければならぬ状態に陥る傾向にあります。自己制御に心掛けて下さい。

・昭和四十一年生四三歳

将来の生活や仕事が増大をみるための基礎作り年です。変化、変動を起さず、生活面を自重する事です。変化を求めると苦勞を作る年となります。

・昭和三十二年生五二歳

人生で勢いのある年、猪突猛進の嫌いのある年です。強引にやり過ぎて折角の成功を無駄にする危険がありますので注意。自己をみつめ平穩に暮らす事に心掛ける事。

・昭和二十三年生六三歳

自己制御が出来にくく、自己過信や自意識過剰から積極的に行動を起したくなる年ですが、熟慮しないと大失敗を招きます。逆に晩年をみつめ足固めすることに目を向けるべきです。

◎吉方 北東・東南・南・西北

◎凶方 東・西

◎諸事見送り

☆八白土星（平運期の順調運）

基礎運

諸事を結実させる年ですので、全力を傾けて努力することにより、引き立てや援助を受けて、仕事や生活が充実します。反面努力を惜しむと思いがけない支出や対外的に辛苦が生じます。

・平成四年生一九歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。

・昭和四十二年生四四歳

厄が抜ける年ですので、努力を惜しまなければ、学問、文芸に向上を見る年です。将来のために、自己を研鑽して下さい。

・昭和五十年生三六歳

・昭五十八年生二八歳
多忙な年で東奔西走しなければ追いつかない事態になりがちです。体力の消耗や支出が嵩むので、病災や別離、名誉を損じることがありますので注意。
・四十九年生三七歳
女性の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。
将来のために、尊厳や威信を築き上げる年にする。目上の人の引き立ても恐れ、繁栄してゆきます。反面自惚れ、行き過ぎは地位を失い、孤独になりがちです。
・昭和四十年生四六歳
完全を求めすぎると、諸事がまとまりません。又強情を通したりすると、権威名声を失います。無闇に利権に乗って走り回らないようにする事です。
・昭和三十一年生五五歳
従来からの諸事を結実完成させる年です。体力や自身の良い部分を使い全力投球して下さい。人生増大繁栄の足かりを作る年です。
・昭和二十二年生六四歳
家庭の為に、難攻不落の城塞を造る時期です。しかし慎重さを怠ると失敗や破滅の原因ともなりますので、充分注意すること。
◎吉方 南
◎凶方 東・東南・西・西北
◎建築・移転・改築・開店 吉
☆九紫火星 平運期注意運
基礎運

暗刺殺と破壊を受けるので星除祈願をお受け下さい。
通常であれば、喜び事や満足感があるが、今年は凶作用を二重に受けるので注意が必要。特に経済的、对人的、遊興等には、思ったより以上裏目に出ます。
・昭和五十七年生二九歳
社会的に信頼度が増す年です。し

か凶作用が強いので、自我欲を抑え諸事に努力する姿勢が大切。
・昭和四十八年生三八歳
対人関係は親密度を増し、社会的活躍する気配はありますが、思うように進まず、苦悩が多い。災難健康面に気をつけ、日常生活は平静不動に過す年です。
・三十九年生四七歳
社会的に信用を得、富貴繁栄する要素があります。しかし凶作用を受けるので、自惚れ行き過ぎに注意する事。対人的に論事を起し、分離や仲違いを招きます。和して同ぜすの心構えが大切です。
・昭和三十年生五六歳
権力をかさじしたり、強情を通し

第六回 崇敬会大祭

崇敬会再興以来六回目を迎える大祭が去る九月二十六日午後三時から、神殿にて神事奉告祭が続いて参集殿にて式典が行われた。

式典では、根津宮司、宮川睦武崇敬会代表世話人、小尾武総代会長、来賓を代表して羽中田進神社庁が交挨拶された。続いて記念講演が行われた。

記念講演は山梨学院大学陸上競技部監督 上田誠仁先生を講師に迎え行われた。



先生は講演で、先づ御縁があつて出合えた

たりするので、諸事順調に進んでいるかのように感じますが、思う程力が発揮できず、挫折感を覚えます。人生の歩んだ道を振り返り、平常心を養うことです。
・昭和二十一年生五六歳
将来の人生造りの青写真を描くには良い年です。精神も陽気になり増大繁栄の運があります。反面遊興酒席にも付き合いが多くなりますので、健康と経済に負担をかけること前述の良き事が水の泡となりますので注意。
◎吉方 北・南・南西・西北
◎凶方 東・西
◎諸事見送り

事に感謝、これは人生すべてに通じる事で選手を育てる事も子供を育てる事もそこから始まる、そして苦しい時こそまず一歩を踏み出す事を教える。そして選手に人間的魅力があるか、感謝の気持ちがあるか、それは選手に競技力を付けるのではなく、競技者力を付ける事、競技者力イコール人間力を付ける事である。

命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり

正ノ木稲荷大明神

稲積神社

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055)233-5573
FAX (055)226-0787

人間は能力的なコンパスを持つている、そのコンパスは大きくもなるし小さくもなる苦しい時こそ半歩でも前に進む事が出来ればコンパスは大きくなる。今年「キー・ポンピリービング」を合言葉に掲げ特に三つの事を実践し信頼関係の構築を図っている。

抜穂祭

去る十月九日、境内の神饌田にて抜穂祭神事が斎行された。今夏の猛暑の影響も受けましたが無事収穫出来ました。



一、自分を信じる。
一、仲間を信じる。
一、指導者を信じる。
そして根を張る努力をチームム一丸となつてやる事がチームムとなる。又戒として自信は必要だが過信はいらない、人間を变えるキッカケは必ずある。過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる、言い訳には嘘が交じる、冗談には本気が交じる。
そして先生がお父様から言われた言葉「リスクを並べて辞める理由を作るな、少しでもやる気があるならやれ、そして爪先を常に夢の方向に向けて頑張れ」この言葉が上田先生が山梨学院大学に来るキッカケとなった。そして最後に先生の好きな言葉「何も咲かない寒い冬は下へ下へと根を生やせ」、御漢書の「疾風に勁草を知る」(はげしい風が吹いて初めて強い草が見分けられる意で困難にあつても強い草の様な人)を崇敬者にお贈り戴き講演を終えた。
先生の体験談や時にユーモラスな話にて一同感慨深く聞き入っていた。

続いて懇親会に移り「ハラウ、フラブメハナ」(秋山茂子代表)のフラダンスに魅了され、又飛入り参加者に大いに盛り上がり、会場に特別出店の弥助船様の極上にぎり鮎に舌鼓を打ち、和やかに懇親を深め第六回の崇敬会大祭の全ての行事を終えた。

